

荻野 泰男

おぎの

やすお



「納得できる所沢市政を!!」 市政リポート 2023.4 Vol.90

議員の最大の使命は“公式の場”で発言することです。

2019年5月、令和の幕開けとともにスタートした所沢市議会の任期も本年4月をもって満了を迎えます。当選して議員になるということは、本会議や委員会などの“公式の場”で発言できる機会が与えられることを意味します。

荻野泰男は一般質問*をはじめ、積極的な発言を常に心掛けてきたところ、今任期中の定例会本会議での発言回数は昨年12月時点で755回(全31議員中トップ)を数えました。

その甲斐あって、市民の皆様からの後押しや市職員の方々のご尽力により、数多くの提案が実現に至りました。そこで、4期16年の間に実現した事案や取り組みの成果のごく一部を紹介させていただきます。

*「一般質問」とは・・・議員が市の行政全般にわたり、市長等(市の執行機関)に対し事務の執行状況、将来に関する方針等についての質問を行ったり、報告や説明を求めたりすることをいいます。所沢市議会の場合、各定例会において1議員あたり1時間(答弁時間を含む)の持ち時間の中で行うことができます。

一般質問において提案し、実現に至った主な事案

4期目(令和元年度～4年度)

- 所沢駅における「となりのトトロ」発車メロディの導入
- 所沢駅における「となりのトトロ」モニメントの設置
- 窓口等におけるキャッシュレス決済の導入
- いわゆる「書かない窓口」の導入
- 各種証明書等のコンビニ交付手数料の減額(期間限定)



- 市民医療センターにおけるクレジットカード決済の導入
- 市民医療センターにおけるオンライン面会の実施
- クラウドファンディングの活用
- 学校施設におけるLED化の推進
- 市庁舎における記念撮影スポットの設置と改善
- 観光情報・物産館の備品等の整備、埼玉西武ライオンズとのコラボ
- 乳児用液体ミルクの備蓄
- シェアサイクルの導入



- 羽毛製品のリサイクルの推進
- ウェブ会議用バーチャル背景画像の提供



- 各審議会等の書面会議に係る規定の整備
- 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の議事要旨のネット公開

3期目(平成27年度～30年度)

- 市職員の持ち家に係る住居手当の廃止(年間約6,600万円の人件費が削減)
- 健康増進のためのポイント制度(健幸マイレージ)の導入



- 2020 東京オリンピック・パラリンピックに関する専門部署の設置
- 所沢ブランド特産品の認定制度の導入



- 市公用車へのドライブレコーダーの搭載
- 市公用車への電気自動車(EV)の導入



- 自転車通行帯(自転車レーン)の設置推進



- サイクリングマップの作成
- 「クックパッド」(料理レシピサービスサイト)への市公式チャンネルの開設



- 庁内の「ハラスメントの防止等に関する要綱」の策定
- 住宅宿泊事業(民泊)に関する情報提供の充実

- 法曹有資格者の採用
- 採用に特化したSNS(フェイスブック)の導入
- 文化芸術振興に関する計画・指針(文化芸術振興ビジョン)の策定



- 各種証明書のコンビニエンスストアにおける交付サービスの実施

2期目(平成23年度～26年度)

● 運転免許自主返納者に対するところバス乗車券の無料交付
 ● 「埼玉県シルバーサポーター制度」の協賛事業所(タクシー事業者含む)の拡大
 (注1)「埼玉県シルバーサポーター制度」とは、運転免許証を自主返納した高齢者が、サービス店として登録されている店や事業所等で様々なサービス(料金割引・宅配・送迎・休憩等)が受けられる制度のことをいいます。

● 中学生海外文化交流派遣事業の再開
 (注2) 所沢市では、中学生をシンガポールに派遣する事業を行っていたところ、平成21年度は新型インフルエンザの流行、22年度は財政的事情を理由に休止されました。そこで、国際社会に対応できる人材育成の観点から、市教育委員会に対し、事業の再開を強く求めたところ、23年度から3年ぶりに事業が再開されました。

- 市職員の採用試験内容の見直し、採用関連情報の充実
- 事業所操業環境状況調査(製造業事業所を対象とした実態調査)の実施
- 工業立地に関する奨励金制度の導入、産業振興を目的とする基金の創設
- 市有施設における自動販売機の設置に関する要綱の制定
- 記者会見用バックパネル(インタビューボード)の制作



- パブリックコメント(意見提案)手続の簡略化、市メールマガジンでの情報提供
- 介護保険サービス事業所情報の冊子化(ホームページ)
- 「介護マーク」の作成、配布
 (注3)「介護マーク」とは、「トイレに付き添うとき」や「男性介護者が女性用の下着を購入するとき」など、介護をする方が認知症高齢者等の介護をしていることを周囲に知らせ、介護者の心理的負担を軽減して介護支援を行いやすくするために作成されたマークのことをいいます。



- 受動喫煙対策に関する情報提供の充実
- 選挙公報の市ホームページへの掲載
- 電気自動車(EV)用充電設備の設置(市民体育館)
- AED(自動体外式除細動器)の設置に関する情報提供の充実
- 市民体育館開館10周年記念事業の実施
- 市民体育館内の「春の高校バレー」開催記念の展示
- 西武鉄道の車両広告を活用した所沢市のPR



- 「家庭の資源とごみの分け方・出し方」への広告掲載



- 「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」への参加
 (注4)「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」とは、プリンターメーカーなどが共同で実施しているリサイクル事業であり、回収されたカートリッジは、仕分け後、各メーカーによってリユースや再資源化されます。
 所沢市では本庁舎など6か所に回収ボックスが設置されています。



- 公園における防災機能の強化(航空記念公園でのかまどベンチ等の設置)



1期目(平成19年度～22年度)

- 「赤ちゃんの駅」の整備

(注5)「赤ちゃんの駅」とは、子育て家庭が気軽に外出できるよう、公共施設や保育園等において授乳やオムツ交換ができるスペースや設備を提供するものをいいます。
 所沢市内には埼玉県による指定も含め約170施設に設置されています。



- 新型インフルエンザ対策行動計画、業務継続対応マニュアルの策定

- 市職員の民間企業(株式会社資生堂)への派遣、民間企業等経験者の採用
- 市職員採用関連情報の充実、民間人試験委員の導入
- 地区別ごみ収集カレンダーの市ホームページへの掲載



- 「YouTube」(ユーチューブ)を利用した市政情報の動画配信
- 市職員の名刺を活用した「所沢航空発祥100周年」のPR
- 公園におけるシニア向け健康遊具の設置(航空記念公園等)



- 「埼玉県地域子育て応援タウン」への認定
- 市民税等へのコンビニ収納の拡大



所沢シティマラソン

プロフィール

- 1970(昭和45)年2月3日、所沢市生まれ。
- 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
- 松竹(株)、豪州留学などを経て、現在社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー(1級FP技能士・CFP認定者)。
- 行政書士、防災士、日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート、TOEIC 885点などの資格を保有。
- NPO法人「田中秀征の民権塾」会員・所沢明生病院地域評議員。
- 所沢市議会議員(無所属・連続4期)。元市議会議長(第64代)。埼玉西部消防組合議会議員。



ところざわまつり

※無断転載等をご遠慮願います。

